



私たちの提案の概要～ホップ・ステップ・ジャンプで共に描く未来～

HOP (提案1)

まずは知ろう！考えよう！

【私たち市民】

- 自分や家族の将来について、考えてみよう
- 広報や市のSNSなどで情報収集をしよう

【地域】

- 子どもたちを通して、家庭で考えるきっかけをつくろう
- 地域でも公共交通を使う機会をつくろう
- 地域の集まりで、将来の不安、高齢者の今の不安や困りごとを聞きだしてみよう

【行政】

- 福祉バスの名前を分かりやすく身近なものにする
- 分かりやすい情報発信をする

STEP (提案2)

公共交通の未来を守るために、まずは使ってみよう！

【私たち市民】

- まずは時刻表を見てみよう
- 公共交通を利用してみよう
- 使用する目的・楽しさを見つけよう

【地域】

- 地域の高齢者に福祉バスの再編について知らせよう
- 公共交通の乗り方などを勉強する機会をつくろう

【行政】

- メリットを周知、パンフレット配布
- バスがなくなるかもしれない現状を周知
- 再編予定の福祉バスについて、誰でも乗れることをアピールする
- 公共交通について、担当課だけではなく、さまざまな部署を巻き込んで考える

JUMP (提案3、4)

外出したいと思える魅力を作ろう！移動に不便を感じている方のサポーターになってみよう！

【私たち市民】

- まずは、挨拶から。世代を超えて近所の人たちと顔見知りになってみる。気にかけてみる
- 楽しそうないイベントへの交通手段として公共交通を使ってみる(動機づけ)
- スマホで時刻表や乗り換えの調べ方を教えてみる
- 困っている人、イベントに行けない人の移動のサポートをする

【地域】

- 祭りやイベントを地域の人たちと一緒にに行ってみる企画をしてみる
- 情報をキャッチする手段を広めてみる

【行政】

- 市の中心部を賑やかにし、行きたい場所を増やす
- イベント時に臨時のバス(有料でもよい)を出す
- 市が行っている高齢者向けサービスの情報発信
- 移動に関する不便さだけでなく、便利な部分も発信していく



▲提案の概要



【話題の心場】 ぱらす+

市長に提案書を提出
たきざわ自分ごと化会議

令和7年11月から令和8年2月まで4回にわたり、無作為抽出で選ばれた市民のうち希望者21人をメンバーとして「たきざわ自分ごと化会議」を開催しました。この会議は、何かを決定する場ではなく「自分たちなら何が出来るか」「どうすれば市がもっと良くなるか」を考える場です。

令和7年度は「高齢者の移動手段について」をテーマに議論し、結果をまとめた提案書を3月15日、市長へ提出しました。提案書には「まずは知ろう、考えよう」から始まる4つの提案の中で「市民」「地域」「行政」が行うことや、メンバーから市民の皆さんへ読んでもらいたいことも盛り込まれています。提案書の詳細は



入学式で元気よく返事をする新入生

ペンだこ

■ 滝沢東小学校の入学式取材しました。新入生は少し緊張した様子もありながら、新しい出会いに期待を膨らませていました。先生方が新入生に視線を合わせて、にこやかに出迎えている場面もほほえましかったです。この春、さまざまなスタートを切った皆さんに笑顔いっぱいの日々が待っていますように！(角掛)

■ 広報担当になって一年。取材や紙面づくりに向き合う毎日、本当にあっという間でした。毎回考えて、悩んで、なんとか形にできた一年だった気がします。まだまだ勉強中ですが、これからも滝沢の魅力を発信し、親しみやすい広報づくりに取り組んでいきたいです。(帷子)

広報たきざわは毎月1日と15日(お知らせ版)発行です。紙面では、施設名や団体名などについて一部省略し、正式名称とは異なる表記をする場合があります。

編集・発行 たきざわ魅力発信室 ☎656-6562
〒020-0692 滝沢市中郷町55番地
<https://www.cty.takizawa.iwate.jp/>